

津久井やまゆり園事件追悼式 市長式辞

本日「津久井やまゆり園事件追悼式」を行うにあたり、相模原市民を代表し、追悼の言葉を申し上げます。

十九名の尊い命が失われたあの日から、七年の歳月が経ちました。

犠牲となられた方の、穏やかな毎日と将来への希望が絶たれた無念さ、愛する家族を突然失われた御遺族の皆様方の決して癒えることのない悲しみを考えますと、今もなお、心の奥深くに留まる強い痛みを感じざるをえません。

事件を決して風化させてはならないという強い決意を胸に刻み、一人ひとりが、障がいのある方々への理解を一層深め、相互に人格や個性を尊重し合う、偏見や差別のない共生社会を築いていくことが、私たちの使命です。

本市では、「共にささえあい 生きる社会」を合言葉に障害に関する理解の促進や、障害のある方が地域で自分らしく生活するためのさまざまな施策を実施するとともに、すべての人がかけがえのない個人として尊重され、お互いの人権を認め合う社会の実現のため「(仮称)相模原市人権尊重のまちづくり条例」を本年度中に制定することを目指して取り組んでいます。

今後も、神奈川県や関係団体等と連携し、御遺族の皆様、津久井やまゆり園の利用者の皆様、御家族の皆様との対話を大切にしながら、誰一人取り残さない共生社会の実現に向け、一つひとつの課題に向き合い、七十二万市民とともに歩んでいくことをお誓い申し上げます。

ここに改めて、十九名の御霊に、哀悼の意を表しますとともに、御遺族の皆様方が、在りし日の思い出とともに心穏やかな日々を過ごされることを心から願い、式辞といたします。

令和五年七月二十六日
相模原市長 本村賢太郎